

ZOOM・動画配信に挑戦

非常事態宣言の解除を受け、6月1日より、通常日課での学校生活に戻ります。5時間登校となった今週は、給食も始まりました。休校中、

村商工会、村教育委員会の皆様にご尽力いただき、ZOOMによるインターネットテレビ会議システム及び動画配信の環境を作っていただきました。そして、25日、26日に実際に学校と家庭をつないだZOOMの



双方向通信の試験をおこないました。子どもたちと会話やじゃんけんをして機器を通したコミュニケーションをおこなったり、

黒板を使って授業風にしたりして、各家庭との通信を体験することができました。家庭でインターネット環境がない児童に対しては、今後休み時間等を利用して体験する機会を設けたいと思います。また、村のホームページから接続する形で、動画の作成・配信も試しています。



予想されるコロナの第2波に備えて、授業で地域の方とZOOMで交流するなど、さまざまな利用場面が想定されます。職員も慣れないなかでどうにか接続できたというところですが、利用の機会を設けながら操作に習熟していければと思います。



桜の苗木をいただきました

茂木泰男様（明治町）より、桜の苗木をいただきました。ありがとうございました。一学年教室外の道祖神の脇、車での来校者の方が一番先に目にする場所に植えさせていただきました。

日本人にとって春を象徴する花としてなじみの深い桜。日本のシンボルとして使われることが多く、文化的にも特別な関心をもたれている花だといえます。

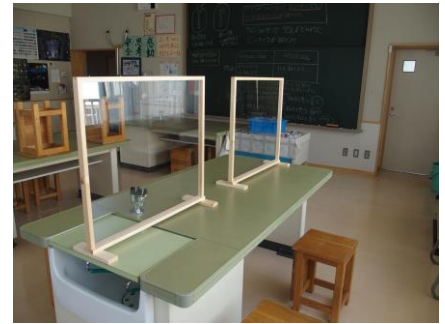


日本では、基本の野生種として約10種、これらの変種を合わせて100種以上の自生種があり、さらにこれらから育成された栽培品種を合わせると、600種ともいわれる品種があるそうです。いただいた桜は「十月桜」という品種で、1年で2度開花が見られる二季咲きの品種です。大きく成長して開花するのを楽しみにしたいと思います。

飛沫防止の亚克力板・給食トレーの導入

文部科学省より5月22日に感染レベルに応じた衛生管理マニュアルが示されました。学校が再開されてもコロナウイルス感染の危険は無くなったわけではなく、引き続き対策をとって生活していかななくてはなりません。

子どもたちが少しでも安心して学校生活を送ることができるようにと、感染リスクが高いと指摘されている対面



による理科室での授業と給食時の対策として、透明な亚克力板による仕切りと一人一人の児童に給食トレーを購入していただきました。



理科室でなければできない道具を使った授業のとき、対面しても飛沫を避けて実験観察などができるように、机の中央に亚克力板の仕切りを制作していただきました。1つの机に2枚を設置することで、仕切りの間に実験器具や観察するものを置くことができるようにしました。家庭科室

にも同様の物を設置し、製作が大きな机で進められるようになります。

給食では、ランチルームではなく各教室で給食をとることに加え、配膳の方法を全面的に見直しました。配膳者は使い捨て手袋を使用し、自分の食べる器はトレーにのせながら自分で取るようにして、他人の接触を無くすようにしました。



「学校の新しい生活様式」として、3密回避のためにソーシャルディスタンスを子どもたち自身が意識して生活していくこととなります。感染のレベルに応じて、必要な対策を確実にしながら、よりよい方法を探り修正していきます。そして、子どもたちと共に学校生活をつくっていきたいと思います。

今週は1週間登校で、子どもたちもとても疲れたのではないかと思います。この週末しっかりと休養をとり、月曜日に全員元気に登校できますようお願いいたします。

6月になります。ここからがはじまりです。